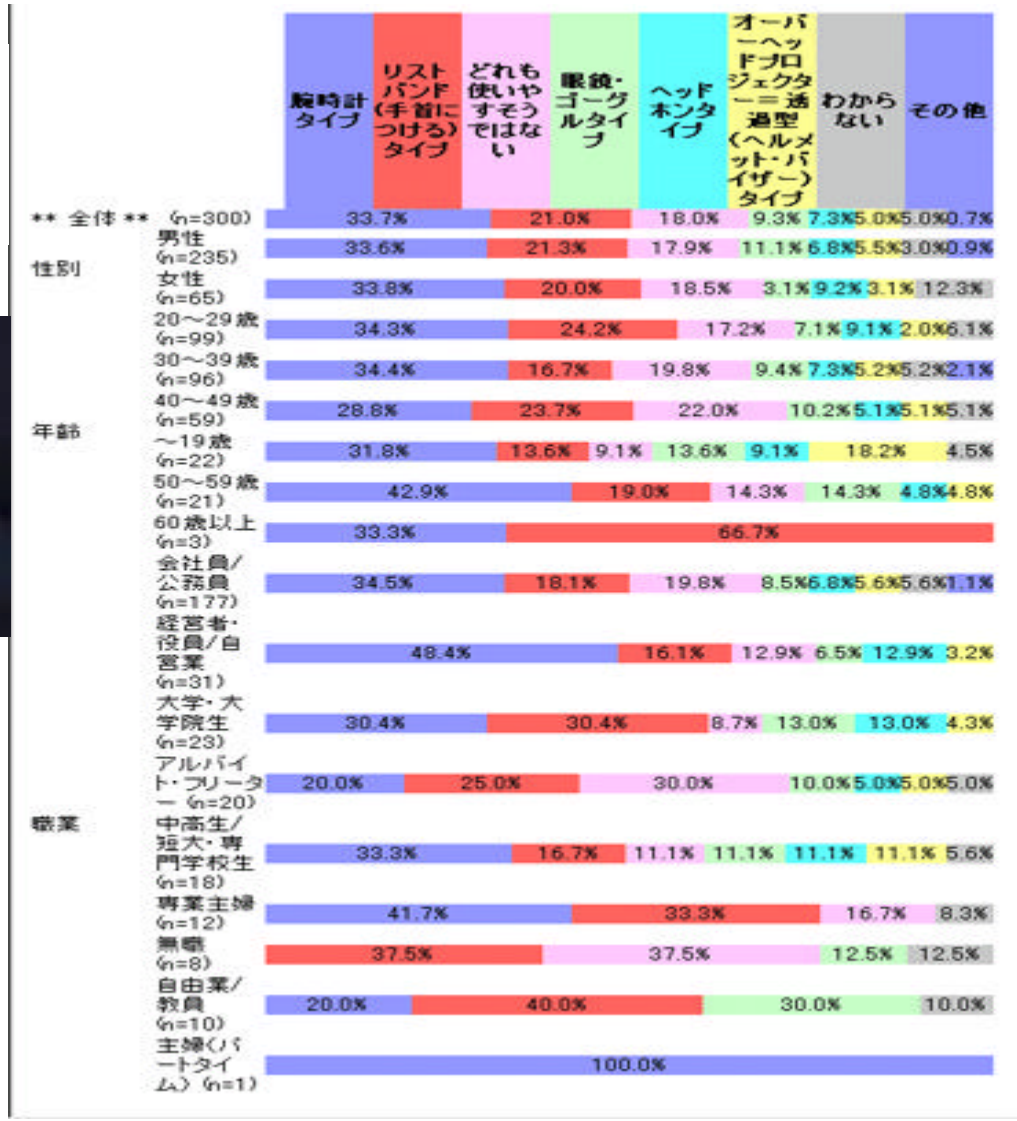
④将来どのようなタイプの「ウェアラブルコンピュータ」が最も使いやすいと思うか

○「ウェアラブルコンピュータ」のタイプとしては
・普及について肯定的な回答は全体の５９％。
普及について否定的な回答者は１３％。

セイコーエプソン社

マイクロオプティカル社



すみずみまでネットワークが行渡った社会の実現に向けた要請

ハード、ソフト一体の「高速・高信頼情報通信システム」の構築

○　あらゆる端末、情報機器、ＩＣチップが、「超高速モバイルインターネットシステム」(注)を中心とするインターネットベースの巨大な分散型ネットワークに繋がっていくため、以下のことが必要。

（注）超高速の移動体通信を中心に、全光化された超高速光ネットワークを介して、すべての情報が高度インターネット上で処理される、「高速・高信頼情報通信システム」の基盤となるネットワークシステム

- 限られた周波数資源の中でも、いつでもどこでも多数の利用者が同時に高速接続できる。
- トラヒックの集中や災害が生じた場合でも、最低限の通信が確保できる。

○　情報量が爆発する一方、生活も情報通信システムに一層依存していくため、以下のことが必要

- 簡単に必要な情報を検索でき、誰でも簡単に端末・システムを操作できる。
- 動画を含めたコンテンツを簡単に制作し、安全に流通させることができる。

○　小型の携帯端末、IC カード等が溢れ、より多くの機器がネットワークに常時接続されるとともに、社会・経済が情報通信システムに一層依存していくため、以下のことが必要。

- ファイアーウォール機能が充実するとともに、パスワードの煩わしさから開放され、かつ本人しか使用できないなどのセキュリティが確保される。暗号技術等により、電子商取引の決済なども安心して利用できる。
- フリーズの起きない情報端末、ダウンしないシステムの実現。